

目 次

『比較経済体制研究』第12号（2005年7月）

巻 頭 言

1844年のエンゲルスから ——ロシア文学の基本的性格を考える——	法 橋 和 彦	…… 1
--------------------------------------	---------	------

特 集 EU 拡大後の欧州

ヨーロッパの中のロシア——地域協力の視点から——	蓮 見 雄	…… 14
ポーランドにおける農村の変化と展望 ——ヴェンゴジーノの事例——	小 林 浩 二	…… 32
カルパチア・ユーロリージョンとクロスボーダー・ガヴァナンス	田 中 宏	…… 52
南東欧の分解と再統合——安定連合プロセスを中心に——	小 山 洋 司	…… 67
中東と欧州の地域統合・経済連携の動向	細 井 長	…… 79

研究ノート

東アジアにおける為替レートの比較分析	李 罡	…… 97
--------------------	-----	-------

書 評

小山洋司著『EUの東方拡大と南東欧——市場経済化と小国の生き残り戦略——』	長 砂 實	……109
羽場久口子著『拡大ヨーロッパの挑戦——アメリカに並ぶ多元的パワーとなるか——』	上 田 三保子	……115
志摩園子著『物語 バルト三国の歴史』	酒 井 淳 子	……119
Steven Rosefielde, <i>Comparative Economic Systems: Culture, Wealth, and Power in the 21st Century</i>	伏 田 寛 範	……125

活 動 報 告

2004年度比較経済体制研究会活動報告	事 務 局	……131
比較経済体制研究会『比較経済体制研究』投稿規定	事 務 局	……134